

プログラム

11月10日(月)

- 学会賞受賞記念講演 -

10:30-11:00 H1. [論文賞]東シナ海と黄海における海面高度の季節変動
和方吉信(九大応力研)

シンポジウム「ジュゴンと漁業の共存のための技術開発」

11:00-11:30 S1. [業績賞]ウミガメ、オオナマズ、ジュゴンを追いかける
荒井修亮(京都大学情報学研究科バイオテレメトリーチーム)

11:30-12:00 S2. [堀田記念奨励賞]タイ国タリボン島周辺における海草藻場とジュゴン摂餌行動の季節変化
中西喜栄(いであ)

- 音響学的探索、手法の開発と応用 -

13:00-13:40 S3. 受動的音響探査によるジュゴンの発見確率の推定 赤松友成(水工研)

13:40-14:10 S4. ジュゴン調査に用いる受動的音響機器の開発 新家富雄(SIT)

14:10-14:30 S5. タイ国でのジュゴン音響観察と展望 市川光太郎(京大院情報)

14:30-14:50 S6. 自律式無人探査機でジュゴンを追いかけられるか? 月岡 哲(JAMSTEC)

- 漁業との共存に資する生態情報と技術開発 -

15:00-15:40 S7. ジュゴンの摂餌に関する知見 向井 宏(北大名誉教授)

15:40-16:10 S8. マルチファンビームソナーによるジュゴン検出 中村良夫(広和)

16:10-16:40 S9. 熱帯性海草の再生に関する検討 笠原 勉(いであ)

- パネルディスカッション ジュゴンと漁業は共存可能か? -

16:50-17:45 パネリスト: 諸貫秀樹(水産庁)、原 武史(全国漁場環境保全対策協議会)及び
講演者

18:00-20:00 イブニングセッション

11月11日(火)

09:20-10:40 一般講演1「機器開発1」 座長 新家富雄(SIT)

A01. Connection Model between the Positioning Mechanism and the Ultrasonic Measurement System via Web Browser Ken Ishii, Yoshimi Takao(水工研)

A02. メカノケミカルキャビテーション噴流によるバラスト水浄化技術の開発
久保田晋平、吉村敏彦(呉工業高専)

A03. 平板状の音響コーナーリフレクターによるソナー性能の間接的向上
澤 隆雄(JAMSTEC)、山根祐介(神戸大)、青木太郎、吉田 弘(JAMSTEC)

A04. 流体エネルギーを利用した発電装置の研究 百留忠洋(JAMSTEC)

10:40-12:00 一般講演2「機器開発2」 座長 月岡 哲(JAMSTEC)

A05. 11000mフリーフォール式カメラ/採泥システム
山内徳保(日海事)、村島 崇(JAMSTEC)

A06. ディープ・トウ用曳航支援ソフトの開発

森 尚仁、宗 輝、杉山智彦、上野珠民、林 央之、白石健太郎 (マリン・ワーク・ジャパン)

A07. 海中無人探査機用マニピュレータ操作手法の提案

石橋正二郎 (JAMSTEC)

A08. 大深度 SM モード光ロータリジョイントの開発

田原淳一郎 (JAMSTEC)

13:00-14:00 一般講演 3 「海洋観測と解析」 座長 堀内智啓 (JFF アレック)

A09. 多波長蛍光光度計を用いたアオコ監視手法と監視システム

西林健一郎 (いであ)、原田洋一、堀内智啓 (JFF アレック)

A10. 北太平洋におけるエアロゾルとクロロフィル a の関係

小島 啓、中田喜三郎 (東海大海洋)

A11. 道北日本海の沿岸湧昇について - 道北域沿岸水温データベースの解析から -

江淵直人 (北大低温研)、佐野 稔 (稚内水試)

14:00-15:20 一般講演 4 「生態系モデル 1」 座長 畑 恭子 (いであ)

A12. 藻食魚の摂餌圧に耐えられる藻場の規模の推計方法

眞田 武 (日本港湾コンサルタント)、宮内俊一 (南西総合研究所)、工藤盛徳、中田喜三郎 (東海大海洋)、浅井 聡 (国交省名古屋港湾事務所)、検崎仁美 (港湾空間高度化環境研究センター)

A13. 移植海藻のロジスティック型伝搬増殖モデル

眞田 武 (日本港湾コンサルタント)、宮内俊一 (南西総合研究所)、工藤盛徳、中田喜三郎 (東海大海洋)、浅井 聡 (国交省名古屋港湾事務所)、検崎仁美 (港湾空間高度化環境研究センター)

A14. 汽水湖尾駁沼集水域における放射性核種移行モデルの構築 水循環に関する各種パラメータの検討

植田真司、長谷川英尚 (環境科学技術研究所)、沓掛洋志 (いであ)、中田喜三郎 (東海大海洋)、久松俊一 (環境科学技術研究所)

A15. 海洋におけるトリブチルスズ (TBT) の分解生成物に関するモデル開発 東京湾における事例研究

市川哲也、江里口知己 (SAT)、橋本伸哉 (静岡県立大)、中田喜三郎 (東海大海洋)、堀口文男 (産総研)

15:30-16:50 一般講演 5 「生態系モデル 2」 座長 植田真司 (環境科学技術研究所)

A16. 生態系パラメータに着目した海洋深層域の低次生態系におけるモデル解析

茂木博匡、中田喜三郎 (東海大海洋)

A17. アサリ浮遊幼生の成長を考慮した粒子拡散モデルによる浮遊粒子の移動と着底の推定

芳川 忍、畑恭子、竹内一浩、永尾謙太郎 (いであ)

A18. 浜名湖-佐鳴湖の水質解析

大野創介、中田喜三郎 (東海大海洋)

A19. 伊勢湾の栄養塩循環解析

野呂 篤、中田喜三郎 (東海大海洋)